

科目名	保育内容（美術表現の指導Ⅱ）					単位	2.0
担当教員	堀 義幸						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	5415

●授業のテーマ

豊かな感性や表現する力を養う保育

●到達目標

「美術表現の指導Ⅰ」で学んだ内容を軸に、造形活動の大切さをより深く考察する。子どもたちが持つ豊かな感性や表現を楽しむ素直な心を育むため、必要と考える保育の能力と技術をさらに蓄積する。

●学習内容(授業概要)

本講義は、子どもの発達や個性に即した造形の教材及び指導方法を研究していく。子どもたちの豊かな感性を育てるため、考えたことや感じた事を楽しく表現させる指導、そして望ましい創造性豊かな成長を願うことを目標に研究を進め、保育の専門職として子どもたちに適切な造形活動を指導出来る技量を身につける。グループまたは個人にて、子どもたちが使用する素材及び道具類の教材研究をはじめ、指導案の作成、造形作品の制作を進める。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. オリエンテーション
2. 造形活動の教材研究、指導計画と造形制作について
3. 0歳児から2歳児までの造形活動に適切な教材研究
4. 0歳児から2歳児までの造形活動制作と指導計画
5. 0歳児から2歳児までの造形活動制作と発表
6. 3歳児の造形活動に適切な教材研究
7. 3歳児の造形活動制作と指導計画
8. 3歳児の造形活動制作と発表
9. 4歳児の造形活動に適切な教材研究
10. 4歳児の造形活動制作と指導計画
11. 4歳児の造形活動制作と発表
12. 5歳児の造形活動に適切な教材研究
13. 5歳児の造形活動制作と指導計画
14. 5歳児の造形活動制作と発表
15. 造形活動のまとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回のテーマについての下調べを行うとともに、授業の反省と感想を書いておく。
制作はグループまたは個人制作とするため、共同研究及び個人研究を日常的に行うようにする。

●成績評価方法・基準

授業に取り組む姿勢や提出物より評価する。
研究の発表 30%、授業内での取り組み姿勢 30%、提出物 40%

●テキスト（必携）

特になし

●参考文献／その他

必要に応じて資料を配布。

●履修上の注意

履修は「美術表現の指導Ⅰ」の単位修得者とする。